

3位と同タイムの4位フィニッシュ

2017年全日本ラリー選手権第5戦
モントレー2017 in 嬭恋

「プレイドライブ YH ノート NISMO S」は、6月8日（木）～11日（日）に群馬県嬭恋村周辺で開催された2017年全日本ラリー選手権第5戦「モントレー2017 in 嬭恋」に参戦いたしました。



第5戦モントレーは高度1000～1500m付近の山岳地帯を舞台とし、高地特有の変わりやすい天候が特徴となるターマックラリーです。10日（土）朝、パルコールつま恋ラリーパークをスタートした伊藤隆晃／大高徹也組は、SS1でクラス3番手タイムを記録すると、SS2以降も安定して2～4番手タイムをマークし、初日をトップから18.4秒差の4番手で終わりました。上位4台による激しい表彰台争いとなった2日目、伊藤／大高組は3度のトップタイムを含む好タイムを並べて健闘し、クラス3番手と同タイムでフィニッシュしましたが、SS1のタイムの速い方が上位となる選手権規定により、惜しくもクラス4位となりました。

ドライバー伊藤隆晃のコメント

「クルマのセッティングがだいぶ進み、ロングコーナーでも思ったように動いてくれるようになってきました。高速ステージでは、ノート NISMO S にアドバンテージがあるのですが、まだまだドライバーがそのアドバンテージを活かし切れていないので、そこが今後の課題ですね。2日目の午後はかなりアタックしたのですが、残念ながらライバルを逆転することはできませんでした。このあとはグラベルラリーをスキップして、次の参戦は10月のハイランドマスターズです。残り2戦となりますが、表彰台そしてクラス優勝を目指して頑張ります」

JN1 クラス リザルト

順位	ドライバー	コ・ドライバー	車両名	タイム／差
1	須藤 浩志	新井 正和	スズキ・スイフトスポーツ	54:25.1
2	小川 剛	佐々木裕一	ホンダ・フィットRS	+3.4
3	古川 寛	遠藤 彰	スズキ・スイフトスポーツ	+8.7
4	伊藤 隆晃	大高 徹也	プレイドライブYHノートNISMO S	+8.7
5	三苦 和義	小林 剛	ホンダ・フィットRS	+3:19.2

※ 出走6台、完走5台

メカニックとして参加した日産・自動車大学の学生たち

日産栃木自動車大学校より4名の学生が参加し、ラリーサービスを経験しました。2日間に渡り、限られた時間のなかで実際にラリーカーの整備にあたりました。



戸田 隼介 スポーツメカニクス科

「もともとモータースポーツに興味があって、自分でもS14シルビアでドリフトの競技に出ています。左フロントとエア抜きのペダル踏みを担当しました。基本的な作業内容ですが、抜けのないように注意しました。学校と違って屋外で、雨が降って地面が濡れていたり、普段と違う特殊な環境での作業経験は、これからは活かせると思います。また参加したいです」



清水 綜一郎 スポーツメカニクス科

「昨年に続いて2回目の参加です。スポーツメカニクス科でレースに参加するので、そのための経験にきました。今回は右フロントを担当しました。2回目ということもあって、少しは余裕があるかなと思っていましたが、雨が降ったり霧が出たり、トラブルもあって大変でした。限られた時間の中での優先順位の判断などが参考になりました。自分たちのレースに活かしたいと思います」



渡邊 令 スポーツメカニクス科

「将来はレーシングチームに就職したいと思っています。そのために、実際の現場を体験したくて志望しました。私は左リヤを担当しましたが、楽しくもあり過酷でもあり、とても充実した2日間でした。ラリーサービスは初めての経験でしたが、思っていた以上に時間がなく、45分間のサービスもあつという間に時間が過ぎてしまいます。楽しい経験でした。ぜひまた参加したいです」



中山 雄斗 自動車整備科2年

「隣のADVAN-PIAAラリーチームの作業を見ていて、作業の速さと丁寧さに驚きました。右リヤとジャッキアップを担当しましたが、ジャッキを置く位置などをよく考えて、2日目にはだいぶ早くできるようになったと思います。足回りを見るスピードも、1日目より2日目には早くなり、自分なりに進歩できたと思います」

次回の参戦は、10月13日～15日に岐阜県高山市で開催される「第45回M.C.S.C.ラリーハイランドマスターズ2017」です。引き続き応援のほどよろしくお願い申し上げます。